

天沼中だより

6天沼中 第260号

令和6年11月27日

杉並区立天沼中学校

自主・自律・共生



「自律」の精神を大切に

校長 池田 和幸

天沼中学校の教育目標は、「自主」・「自律」・「共生」です。これからの時代を逞しく生き抜く生徒を育成していくためには、この3つの目標の達成がとても大切になると考えます。「自主」と「自律」は主体性と関係しています。主体性とは簡単に言うならば、「自分で決め、その結果に責任をもつ」ことであると言えます。また、「共生」とは、「互いに生かされ、生きること」と言うことができます。人々によって思いや考えが様々に違う中で、違いを乗り越え共に生きることができる社会を実現していくための手段は「対話」です。現実には「対話」ができない状況に陥ることもあります。しかし、「共生」を実現していくために大きな鍵となるのは「対話」であることは間違いありません。現在のウクライナ戦争やパレスチナ問題をはじめとした中東の状況を知るにつれ、真の対話の実現の難しさを実感しますが、パレスチナ問題が比較的安定していた時代には、「対話」のチャンネルが開かれていたことを考えると、「対話」がないところには、「共生」はないのだと感じます。

現行の学習指導要領において、「主体的・対話的で深い学び」が重要であると示されています。本校の教育目標は「主体的・対話的で深い学び」の実現に関わる目標となっています。まさに今の時代に合致している教育目標と言えるでしょう。本校の「自主」・「自律」・「共生」の教育目標がいつから設定されたのかを調べてみると、平成14年度から設定されたことが分かりました。第17代校長の嶋崎政男先生の時でした。20年を経ても時代遅れとならない教育目標を設定された先見の明に驚かされますが、文部科学省が目指してきている教育は、内容こそ違いがあっても方向性は変わっていないことの証拠のように思います。この教育目標が設定された平成14年度は、平成10年改定の学習指導要領が小学校で全面実施となる年で、中学校の移行期間の最終年にあたります。平成10年の学習指導要領は「生きる力」を全面に打ち出し、完全週5日制の実施、総合的な学習の時間の導入等、それまでの学習指導要領の流れから大きく転換したと言われていた学習指導要領です。一方で「ゆとり世代」というような言葉が生まれたように、学習内容の精選により基礎学力の低下が問題視され、批判にさらされた学習指導要領でした。

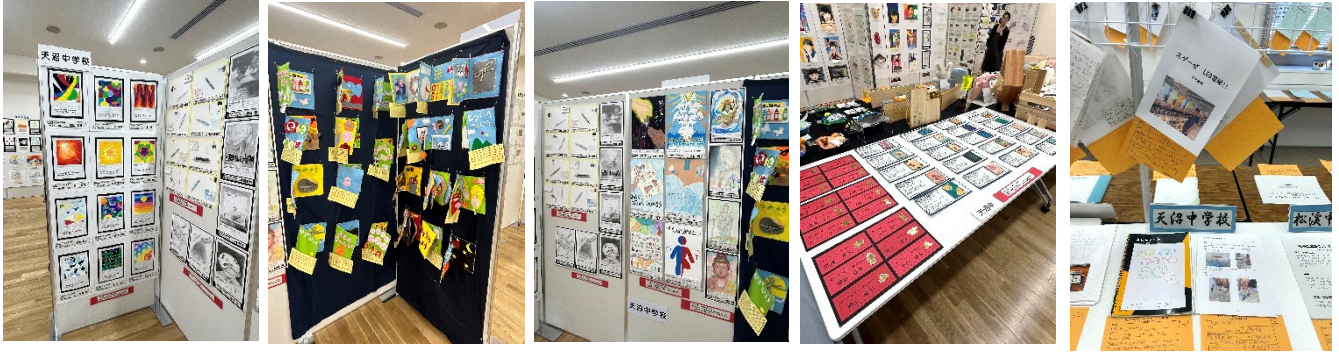
しかし、この学習指導要領で小中学生の時期を学んだアスリートには、世界で活躍している人が多くいます。例えば、大谷翔平選手や羽生結弦選手、浅田真央選手、内村航平選手などが挙げられます。少子化が進行し、その世代の人口は少なくなっているにもかかわらず、これまでの日本人を超える活躍を見せています。様々な要因が重なっているとは思いますが、「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断する。」という文部科学省が示した「生きる力」の実現がこのような形となって実を結んだとも言えるのではないのでしょうか。

11月25日(月)の学校朝会で、荻窪警察署のスクールサポーターの方から闇バイトに関する注意を全校生徒にいただきました。全国的に問題になっている闇バイトに安易に手を出してしまう若い人たちがいるということで、人生を棒に振らないためにも安易に怪しい誘いに乗ることなく、しっかりと判断をしてほしいと思います。薬物の問題もそうですが、安易に踏み出した一歩が人生を大きく狂わせてしまうことがあるということを強く意識してほしいと思います。適切に判断し、行動することができること、これはまさに「自律」の実現です。

このような犯罪に巻き込まれないというマイナスにならないという部分だけではなく、先ほど述べた活躍するアスリートのように自分の夢や理想を実現させていく力も「自律」と大きく関わります。自分という一人の存在が、どんな人生を描いていくのか、それを描いていく原動力も「自律」です。私たちは意識していることだけではなく、無意識でも様々な場面で判断をして生活しています。1日に数千以上の判断をしていると言われる。今回は闇バイトの話でしたが、薬物や情報モラルなど、自分の判断が試される場面は無限にあります。ある場面ではこう判断すべきであると、1つの事柄から1つの結果だけ結びつけて考えてしまうと、違った事柄では判断できなくなります。どんな根拠を持って判断するのかという、自分自身の柱を持つことが大切です。どんな場面においても「自分が決める」という「自主」の意識をもち、「人から言われたから」とか、「なんとなく」という判断ではなく、自分がしっかりと考え判断する「自律」を大事にしてほしいと思います。

連合文化祭・サイエンスグランプリ

11月2日～4日にセシオン杉並で行われた杉並区中学校連合文化祭では、美術科・技術科・家庭科の作品展に美術「パステル（3年）」20点、「仏像の世界（3年）」4点、「心の世界（3年）」6点、「SDGsを広げよう（2年）」6点、「本物そっくり文具（1年）」8点、「自分らしい模様（1年）」12点、技術科「キーホルダー（3年）」18点、家庭科「布絵本（3年）」22点が出品されました。



また、同じくセシオン杉並で行われた杉並子どもサイエンス・グランプリ 2024 では1・2年生の夏休みの自由研究より3名の自由研究が展覧され、努力賞をいただきました。

他にも、勤労福祉会館で行われた英語学芸発表会、書評座談会、セシオン杉並のホールで行われた音楽発表会では、合計17名の生徒が参加し、日頃の学習・活動の成果を披露しました。



11月 土曜授業 国際理解の日

11月9日の土曜授業のテーマは「国際理解」です。多様な価値観を尊重し、より良い社会の創り手として参画していこうとする態度を育てるため、1年生は株式会社インタラックから3名の外国人講師とシニアボランティアを招き、「日本に住んでいる外国の方のお話を聞いて交流しよう」をテーマに文化交流を行いました。また、2・3年生では杉並区交流協会より13名の外国人留学生に来ていただき、2・3年生合同班による授業を行いました。生徒たちは日頃の授業で培った英語のリスニング、スピーキング能力を使って一生懸命に交流を楽しんでいました。



1年生は教室で
2・3年生は体育館で
授業を行いました



第2学年 校外学習「都内巡り」

2年生の校外学習「都内巡り」では各班で見学のテーマを決め、1日班行動に出かけました。事前学習を経てコースを決め、地図と時計を見ながら各班東京の名所をたくさん見学してきました。物事をどう考えて判断して行動するか、多くの学びがありました。



今年の都内巡りは上野・浅草方面、渋谷・原宿方面、新宿方面、豊洲方面と様々な場所を巡りました。各班の決めたテーマには「東京の産業発展には、どのような観光施設が関係しているのか。」「東京の文化や歴史を実際に感じ、新たな魅力を見つける。東京の街並みて何?」「外国人観光客の視点で見た、日本文化の美しさとは。」「なぜ、「10代の若者」は、原宿、渋谷に集まるのだろうか?」などがあり、様々な視点から、東京都の魅力や歴史について考えたことがうかがえます。事後学習の発表が楽しみです。

いのちの安全教育「デートDV」

いのちの安全教育の一環で、東京弁護士会から講師をお招きして「デートDV」について全校で授業を行いました。「DV」とは「親密な関係にあるパートナー間で行われる暴力や虐待」を指します。中でもデートDVは、「交際中のパートナー間で行われる暴力や虐待」であり、「パートナーの一方が他方を支配・コントロールしようとする行為」が含まれます。こういった暴力・虐待の中には当事者や周囲が気づきにくいものがあることや、対等な関係を築くにはどのようにしていったらよいかなど、代表生徒によるロールプレイやスライドを用いた講義を通して学び、考える授業となりました。また、SNSの使い方や多様な性についても触れていただき、考えるきっかけとなりました。

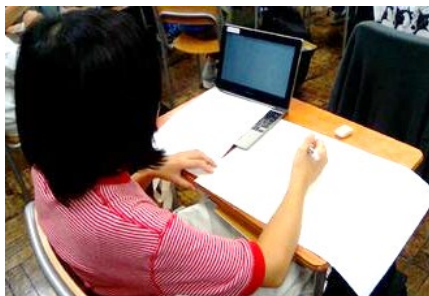


第1学年校外学習「職場訪問」

第1学年の校外学習では、キャリア教育の一環として職場訪問を行いました。2年生で行う「職場体験」の事前学習として自分たちの興味・関心のある職種を選び、2~3名のグループで実際に職場を訪問しました。仕事の様子ややりがいについて実際に働いてる方から教えていただき、生徒によるアンケートを行いました。中学生として行う初めての校外での自主行動に、緊張しながらもしっかりと正装に身を包み、取り組んでいました。



事前学習の様子



いざ出発

天中CSコーナー 学校改築改築についてのアンケートへのご協力に感謝です！

昨年の今頃に、CSの新メンバーに入ってくださいました。フレッシュなメンバーにより活性化し、学校と話し合いながら、いろいろな企画に取り組んでいます。

先月の天沼中学校改築に向けてのアンケート調査もその一つです。ご回答いただいた方々の貴重なご意見を生かしていきます。ご協力をありがとうございました。まずは天中CSだより『メビウス』にて一部ご報告いたします。また天小と沓掛小と天中の三校合同CS会で、このご意見を一つの資料として話し合いを持ちます。

今後改築について少しずつ話題になるかと思えます。半世紀に一度のことですし、生徒の、そして地域の中学校施設になるよう知恵を出し合っていきたいと思えます。

【保護者の皆さま】

杉並区教育委員会より11月5日にtetoruにて教育調査アンケートを配布しました。この調査の結果は教育の水準維持・向上を目的として取り組む様々な施策の参考資料として活用されます。1月10日までご回答をお願いします。